

ハローワーク総合評価について

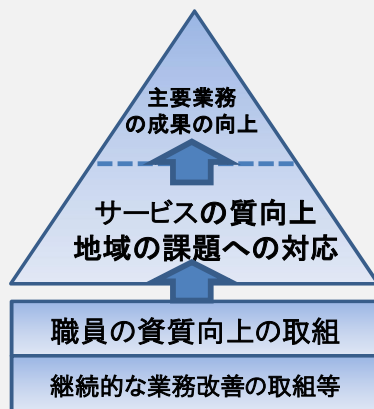
- 平成27年度から、目標管理・業務改善の取組拡充等を柱とする「ハローワーク総合評価」を開始。
- 例年、すべてのハローワークにおいて業務毎に目標値を設定し、その達成状況等に応じた4段階の相対評価等を実施。次年度以降の業務改善に繋げる。また、取組状況や評価結果は公表し、労働政策審議会（本省）や地方労働審議会（労働局）にも報告。
- (1)目標管理、(2)実績公表・相対評価、(3)評価結果に基づく業務改善といった一連の流れを続けることにより、サービスの質の向上に向けた取組を継続的に実施。

(1) PDCAサイクルによる 目標管理・取組の評価

- ・ 就職率等の**主要指標**のみに基づくPDCAサイクルによる目標管理を拡充し、

- ① 業務の質に関する**補助指標**
- ② ハローワーク毎に、地域の雇用の課題を踏まえ重点とする業務に関する**所重点指標**
- ③ ハローワーク毎に、中長期的なマッチング機能強化のため、職員の資質向上や継続的な業務改善の取組を推進する評価項目である**所重点項目**

を加え、総合的な観点から目標管理を実施。



短期的な成果の向上だけでなく、
中長期的な業務の質向上・業務改善を図り、
マッチング機能を強化

(2) ハローワークのマッチング機能の 総合評価・利用者への公表

- ・ 業務の成果について毎月公表
→ 各労働局が所管ハローワークの主要指標の実績を毎月公表
- ・ 年度終了後、業務の成果(主要指標・所重点指標)や質(補助指標)、職員の資質向上・業務改善の取組(所重点項目)の実施状況を踏まえ、ハローワーク毎に総合評価を実施。
→ 労働市場の状況や業務量が同程度のハローワークを11グループに分け、同一グループ内で相対評価
- ・ ハローワーク毎に総合評価結果及び業務改善の取組等をまとめ、各労働局が公表。



重点的に取り組んだ事項、業務改善を図った事項、業務改善が必要な事項、総合評価、指標ごとの実績及び目標達成状況などを公表。

- ・ 総合評価結果を、労働局は地方労働審議会、本省は労働政策審議会に報告。

(3) 評価結果に基づく 全国的な業務改善

- ・ ハローワークのマッチング機能の強化を図るため、評価結果をもとに、本省・労働局による個別のハローワークへの重点指導や好事例の全国展開を実施
- ① 評価結果に基づき、本省から、労働局・ハローワークに対する問題状況の改善指導
- ② 一定の基準に該当するハローワークは改善計画を作成、本省・労働局が重点指導
- ③ 労働市場の状況や業務量が同程度のハローワークにおいて、相対的に高評価となったハローワークにおける取組事例を全国展開

次年度以降も
(1)～(3)を実施

ハローワーク那覇 就職支援業務報告（令和4年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

① 各指標に対する取組

当所では、主要3指標（就職件数、求人充足件数、雇用保険受給者の早期再就職件数）の目標達成を最重要事項と位置づけ、「労働条件緩和指導による良質求人の確保」、「事業所訪問時や求人受付時における正社員求人の提出勧奨」、「能動的マッチングの強化」及び「雇用保険受給者への早期再就職の勧奨」について、重点的に取り組みました。

「能動的マッチングの強化」においては、求職者マイページを活用した求人情報の提供を積極的に行い、並行して求人者マイページから求職者への「直接リクエスト」活用促進のため、求職者が「求職情報公開シート」の内容充実を図れるよう、作成支援に取り組みました。

また、支援メニューや所内窓口の案内について、地元お笑いタレントによる方言を交えた動画（地元求職者に伝わりやすい動画）を作成し所内放映することで、求職者がスムーズに必要とするサービスにたどり着けるよう工夫しました。

「雇用保険受給者への早期再就職の勧奨」においては、初回講習会や初回認定相談時に、ハローワーク支援メニューの周知や見立て求人の提案を積極的に行い、また、待ち時間を活用したミニセミナーを実施することで、雇用保険受給者の早期再就職意欲を喚起するよう取り組みました。

② 中長期的な職員の資質向上に向けた取組

当所では、中長期的な職員の育成を図る観点から、キャリア・コンサルタント資格取得を推奨しており、職員・相談員の職業紹介技法の向上のため、沖縄労働局が主催したキャリアコン研修に6人の職員・相談員を送り出しました。

また、職業紹介部門の職員・相談員を対象とした「応募書類作成指導研修」、「トライアル研修」、「求人作成ポイント研修」及び「システム研修」等を実施し、職員のスキル向上に取り組みました。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

① 人材確保分野（福祉（介護・看護・保育）、建設、警備、運輸、宿泊）の求人者が、人材を円滑に確保できるようにするため、求職者に対し、求人・事業内容について直接説明できる機会として「日替わりミニ企業説明会」を開催する他、求職者に求人・事業内容を更

に詳しく理解してもらうため、沖縄県キャリアセンターと共催で「Live Café（事業所求人説明会）」を開催する等求人充足サービスの強化に取り組みました。この取組については、求人者からの申し込みが多く、人材確保に向けての効果的なPRの機会となっています。また、求職者も積極的に参加しており、人材確保分野の仕事理解及びイメージアップにも役立っています。

- ② 人材確保分野の業界についての魅力を発信し、同業界への業種転換を促進することを目的とした「キャリアチェンジセミナー」や若年者向けにフォーカスした「マインドセミナー」（令和4年度新たな取組）等マッチングに資する求職者セミナーの実施に取り組みました。
- ③ 初の試みとして、関係機関で合同開催した企業説明会において、参加企業が事前に「参加してほしい求職者」を求職情報公開機能によりピックアップし、ハローワークから求職者に対し「企業からの参加要望（オファー）」があることを伝え、参加を促す取組を行いました。

結果、参加企業からは「形骸化しつつあった説明会よりも充実していた」との好評の声をいただきました。

（3）今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

- ① 令和4年度の管内有効求人倍率は0.91倍（前年度0.73倍）、月間有効求職者数191,750人で前年度比1.0%減少（1,988人）、月間有効求人数175,234人で前年度比23.9%増加（33,833人）、就職件数は8,499件で前年度比0.5%（44人）減少となりました。令和4年4月以降は新型コロナにかかる行動制限のない状況が継続し、経済が回復基調にある中、観光関連産業を中心にほとんどの産業で求人増加の状況にあります。しかし、コロナ禍で流失した人材不足の影響は大きく、小売業や宿泊業を中心に人手不足感が強まっています。このため、引き続き求職者に対し求職者マイページ及び沖縄労働局公式SNS等を活用した積極的な求人情報・イベント情報等の提供を行うとともに、求人者に対しては、求人条件の緩和を提案した良質の求人開拓を行いつつ、関係機関と連携し、企業説明会・面接会を通じた能動的マッチングの強化を図ってまいります。
- ② 新型コロナの影響により、生活基盤の脆弱なひとり親及び生活困窮者への就職支援が急務となっており、生活面と就職・就労面での支援を並行して実施することが重要であることから、沖縄県とハローワークが一体的に実施する施設「グッジョブセンターおきなわ」において、入居している関係機関と連携したチーム支援を行う等取組の強化を図ってまいります。また、地方公共団体等での出張相談等の実施により、支援が必要な求職者の掘り起しにも積極的に取り組んでまいります。

（4）その他業務運営についての分析等

経済の活動が活発化し人材の需要が増加する中、今後、一層人手不足感が強まる傾向にあり、このような状況下においてハローワーク那

覇においては、職員一人ひとりのマッチング技能向上を図り、個々の求職者の状況に応じた就職支援の実施により安定した就職を実現できるように、公共の就職支援機関としての役割を最大限に発揮してまいります。

2 特記事項

雇用対策協定については、浦添市に続き管内2番目となる南城市と令和5年2月に協定を締結することができました。引き続き、協定締結市（浦添市・南城市）との連携を深め、具体的な取組みの実現に向けた協力体制を築いてまいります。

3 総合評価（※）

標準的な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

4 マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足数 (受理地)	雇用保険 受給者 早期再就職 件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	ハローワーク の職業紹介 により、正社 員就職に結 びついた就 職氷河期世 代の不安定 就労者・無業 者の件数	生活保護 受給者等 の就職率	障害者の 就職件数	新卒者支援 に係る就職 支援ナビゲ ーターの支 援による新 規卒業予定 者等(既卒者 含む)の正社 員就職件数	公的職業 訓練終了 3か月後の 就職件数	マザーズハ ローワーク事 業における 担当者制に よる就職支 援を受けた 重点支援 対象者の 就職率	人材不足 分野の 就職件数	生涯現役支 援窓口での 65歳以上の 就職件数
令和4年度目標	8,737	8,915	3,492	90.0%	90.0%	460	64.0%	730	2,566	444	94.0%	2,129	220
令和4年度実績	8,481	9,035	3,518	80.6%	94.9%	554	70.2%	884	2,561	702	94.9%	2,109	224
目標達成状況	97%	101%	100%	未達成	達成	120%	達成	121%	99%	158%	達成	99%	101%

※ 就職件数は「(従来の) 紹介就職」及び「オンライン紹介による就職」の合計件数、充足数は「(従来の) 紹介就職」、「オンライン紹介による就職」及び「オンライン自主応募による就職」によるハローワーク求人の充足数の合計となっている。

※ 「目標達成状況」は、年度当初に設定した目標値に対する「達成率(端数切捨て)」又は「達成」・「未達成」で表示。

ハローワーク沖縄 就職支援業務報告（令和4年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

① 各指標に対する取組

当所では、新型コロナウイルス感染症の影響が続く中、求職者及び求人者に対するきめ細かな支援を実施するため、主要3指標を中心に業務を推進しました。

就職支援については、職業相談時における求職者への丁寧な聞き取りに努め、求職者のニーズを把握し、それに応じた就職支援に速やかに繋げるよう取り組みました。具体的には求職者担当者制による個別支援を実施し、就職活動に対する課題の発見、求人者の詳細情報の提供、応募書類作成および面接支援等を継続的に行いました。

また、キャリアチェンジを含め職業選択に迷う求職者に対し「自己理解」「仕事理解」を深めることを目的としたセミナーや求人説明会等の実施にも積極的に取り組みました。

求人充足支援については、業界別の求人担当者制を実施し、コロナ禍で事業所訪問が制限される中でも、業界を取り巻く様々な情報の収集・分析を行うことで把握した事業所情報と、職業相談部門が相談窓口で把握した求職者ニーズを求人充足会議やミーティングの場で共有することで、求職者に対する速やかな情報提供や庁舎内での求人情報の掲示等、求人者サービスの充実を図りました。

また、様々な業界について求職者により知ってもらいマッチングに繋げるため、業界別セミナーや事業所見学・体験会を実施しました。

以上の取組は、令和5年度についても改善を図りながら継続して実施していきます。

② 中長期的な職員の資質向上に向けた取組

職員の中長期的な資質の向上に向けて、業務に必要不可欠な事項については計画的に研修を実施するとともに、ハローワーク窓口の利用者サービス向上に向けた「窓口対応研修」も積極的に実施しました。また、本省が実施する情報セキュリティや文書管理、公務員倫理、メンタルヘルスに関するオンライン研修（eラーニング研修）を積極的に受講することにより職員の資質向上に向け取り組みました。

(2) サービス改善・業務改善を図った事項

利用者アンケートでは、庁舎内で「掲示物が見えにくい」、「資料の場所が分かりにくい」等のご意見があったため、掲示する内容が混在しないよう掲示場所を区分して貼り出すよう工夫しました。

また、特に注目頂きたい内容についてはカラフルなイラストを添える等、利用者の視覚を意識した掲示方法により、限られた庁舎環境の中でも効果的に周知が図れるよう、工夫・改善を図っています。

その他、求職者への情報提供方法について、これまでのダイレクトメール（郵送）を中心とした情報提供を行っていましたが、ハローワーク利用のオンライン化に伴い、求職者マイページを活用したメッセージ送信によるアプローチを行うことで速やかなマッチングに繋がるよう工夫しています。

(3) 今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

令和4年度は新型コロナウイルスの影響の長期化により、求職者への積極的な来所勧奨や窓口相談、面接会・企業説明会等のイベントの実施や、求人者に対する積極的な訪問等による接触が十分できず、能動的な就職支援の実施が困難な状況でした。その状況下においては電話による職業相談や事業所との接触、オンラインを活用した企業説明会等の開催に取り組みました。

新型コロナウイルスの「5類感染症」への移行に伴い、経済活動も活発化しており、求人受理件数も増加しています。特に人材不足分野を中心に「人手不足」の状況が深刻な問題となっています。ハローワークとしても人手不足の相談が増加する中、求人の充足対策に重点を置く必要があることから、求人票作成から充足対策（マッチング）まで事業所に対してきめ細かく支援するとともに、求職者に対する担当者制による職業相談の実施や情報提供、面接会・企業説明会等を積極的に実施する等、充足対策を強化していきます。

(4) その他業務運営についての分析等

傾聴を心掛けた職業相談等基本業務の徹底により、求職者のニーズや課題を把握し、個別支援や各種セミナー等、適切な就職支援及び来所者目線の業務を推進していきます。また、人手不足への求人充足対策として、事業所に対し、求人者担当者制によるきめ細かい支援を実施するとともに、マッチング精度の向上を図るため職員の資質向上に向けた研修等にも取り組んでいきます。

2 総合評価 (※)

標準的な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 マッチング関係業務の成果 (主なもの)

	就職件数	充足数 (受理地)	雇用保険 受給者 早期再就職 件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	ハローワーク の職業紹介 により、正社 員就職に結 びついた就 職氷河期世 代の不安定 就労者・無業 者の件数	生活保護 受給者等の 就職率	障害者の 就職件数	ハローワーク の職業紹介 により、正社 員就職に結 びついたフリ ーター等の 件数	人材不足 分野の 就職件数	生涯現役支 援窓口での 65歳以上の 就職件数
令和4年度目標	6,522	5,801	2,407	90.0%	90.0%	357	63.8%	572	324	2,011	123
令和4年度実績	6,433	5,638	2,455	79.5%	97.4%	391	82.1%	624	354	2,072	129
目標達成状況	98%	97%	101%	未達成	達成	109%	達成	109%	109%	103%	104%

※ 就職件数は「(従来の) 紹介就職」及び「オンライン紹介による就職」の合計件数、充足数は「(従来の) 紹介就職」、「オンライン紹介による就職」及び「オンライン自主応募による就職」によるハローワーク求人の充足数の合計となっている。

※ 「目標達成状況」は、年度当初に設定した目標値に対する「達成率(端数切捨て)」又は「達成」・「未達成」で表示。

ハローワーク名護 就職支援業務報告（令和4年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

① 各指標に対する取組

名護所においては、主要3指標の目標達成を最重要事項として位置づけ取組を進めており、朝礼では、求人者支援員から「おすすめ求人」、「求職者ニーズの高い求人や要件緩和を行った求人」、求人者支援員が情報収集をした「求人票以上の情報（求人票には掲載されない細かな情報）」などを紹介し、スピーディに求人充足が図れるよう紹介担当と情報共有を行いました。

また、職業相談では、対応前に、希望条件に近い求人情報を準備し、相談時に情報提供を行うことや、求職票記載内容の充実化等を徹底しました。

雇用保険受給者の早期再就職については、初回講習セミナーにおいて、早期再就職のメリットの説明を行うとともに、求人事業所を招き事業所PRを行う時間を設けることで求職者の就職意欲を喚起し、失業認定日においては、職業相談を行ったうえで失業認定を受ける流れとし、全員相談を行うことを徹底しました。

また、雇用保険受給者は、積極的に求職者担当者制による重点支援対象者とし、個別支援を行いました。

その他、人材不足分野における人材確保の取り組みとして、分野別の求人者担当制を行い、求人票の記載内容の見直しや条件緩和を積極的に提案、自治体との連携による各種制度の案内、セミナー（介護・観光）や企業説明会（保育）の企画、また、分野ごとの求人情報誌の作成を行いました。観光業については1月にPR月間をもうけ、業界PR動画を放映するとともに、特集コーナーを設置しました。

② 中長期的な職員の資質向上に向けた取組

当所においては、求人業務研修、助成金研修、職業相談研修、生涯現役支援窓口に係る研修を行い、職員のスキル向上を図りました。

その他、職員の意識向上及びハローワークサービスの質の向上のため、所長によるPDCA研修を行い、それぞれの課題の理解を深めることで、積極的に目標達成に取り組むことができました。

(2) サービス改善・業務改善を図った事項

専門相談員同志がお互いの支援内容や業務状況を共有する機会となる「連携促進ミーティング」を毎月実施しました。

ナビゲーター、コーディネーター、アドバイザーが現在取り組んでいることや今後取り組みたいこと、課題等を共有し、意見交換を行うことで、イベント類の企画立案に繋がり、新たな企画として、高校生を対象にした「求人票の見方セミナー」、若年者を対象とした「じぶん発見セミナー」、障害者支援施設の支援員を対象とした「ハローワーク活用術+就労パスポート活用セミナー」、「スキルアップ研修」、「就労パスポートの作成についてのワークショップ」を実施し、来所者へのサービス向上・業務改善を図りました。

また、利用者サービス向上のアイデアを気軽に提案できるよう「業務企画の提案要領」を策定し実施したことで、活発に提案が出されるようになり、総合案内や掲示コーナー、周知用ポスター等が、よりわかりやすく、目に留まりやすくなるといった改善に繋がりました。

(3) 今後のサービス改善・業務改善の取り組みについて

令和2年度から新型コロナウイルス感染症の影響により、管内主要産業である観光産業（宿泊・サービス）の求人数が減少していましたが、令和4年度は回復傾向に転じ、求人数が増加し人材不足に拍車がかかる状況となりました。医療・介護・保育の分野も同様に、人材確保対策が重要な課題となっており、今後は、求人者に対し賃金額を含めた「求人条件向上」の提案・働きかけを積極的に行い、より質の高い求人確保に取り組んでいきます。また、求職者ニーズを踏まえた求人の開拓も併せて行っていきます。

その他、ハローワークインターネットサービスが刷新され、求人検索を目的とする来所者が減少する中、ハローワークのサービスをどのように周知し、より多くの方に利用を促し求人確保に繋げていくかが課題となっており、「ハローワークを利用したい」と思っていただけよう、求職者担当者制によるきめ細やかな職業相談や課題解決支援サービスを中心に、個別ニーズに対応する支援を行うよう取り組んでいきます。

(4) その他業務運営についての分析等

名護市との雇用対策協定に基づく事業計画に則り、同市と連携して、重要課題としている保育人材の確保に向けた「保育園のお仕事説明会」や「保育士合同就職説明会」、金融特区における雇用促進のため「ハローワーク出張説明会 in 金融特区」等の就職支援に取り組みました。

2 総合評価 (※)

良好な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 マッチング関係業務の成果 (主なもの)

	就職件数	充足数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	ハローワークの職 業紹介により、正 社員就職に結びつ いた就職氷河期世 代の不安定就労 者・無業者の件数	公的職業訓練 修了3か月後の 就職件数
令和4年度目標	2,194	1,825	617	90.0%	90.0%	136	74
令和4年度実績	1,969	1,767	584	89.6%	98.9%	158	153
目標達成状況	89%	96%	94%	未達成	達成	116%	206%

※ 就職件数は「(従来の) 紹介就職」及び「オンライン紹介による就職」の合計件数、充足数は「(従来の) 紹介就職」、「オンライン紹介による就職」及び「オンライン自主応募による就職」によるハローワーク求人者の充足数の合計となっている。

※ 「目標達成状況」は、年度当初に設定した目標値に対する「達成率(端数切捨て)」又は「達成」・「未達成」で表示。

ハローワーク宮古 就職支援業務報告（令和4年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

① 各指標に対する取組

当所では、主要3指標（就職件数、充足件数、雇用保険受給者の早期再就職件数）の目標達成を最重要事項と考え、労働条件緩和の働きかけによる良質な求人確保を実施し、その求人を紹介部門において情報共有するとともに、求職者に積極的に提供する等、能動的マッチングの強化に取り組みました。

特に雇用保険受給者に対し、ハローワークの支援メニューの丁寧な説明、窓口利用の積極的勧奨、失業認定日における全員相談の実施等、求職者の就職意欲の喚起を図りながら、早期再就職を意識付ける就職支援を重点的に取り組みました。

また、管内の雇用失業情勢の改善に伴い、観光関連を中心に求人が増加していることから、早期の求人充足を意識した求人者サービスを実施しました。具体的には、コロナ禍で中断していたミニ企業説明会を令和4年7月から再開し、令和4年度は17回、延べ101人が参加し16人の採用に繋がりました。

これらの取り組みの結果、主要3指標全てにおいて目標を達成することができました。

② 中長期的な職員の資質向上に向けた取組

当所では、中長期的な職員の育成を図る観点から、職業相談担当者に対し、求人者からの直接リクエスト、雇用保険受給者早期再就職、求職公開に関する研修を実施し、職員スキルの向上に取り組みました。

また、職業相談に必要な関係法令の知識を深めるため、労働基準監督署と連携し、労働基準法に関する研修を実施しました。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

入口フロアのパンフレットラックが雑多となっていたため、設置台数を減らし来所者がパンフレット等を探しやすいよう改善しました。

また、シニア向け求人や保育関係の求人情報誌を作成し、求人情報をまとめて見られるようにしました。

ミニ企業説明会については、令和5年2月から宮古島のLINEを活用して周知を行っています。

(3) 今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

観光関連産業を中心に人手不足が深刻化していることから、各業界の魅力発信等、雇用対策の充実を図ります。
また、オンライン職業相談の活用に向け所内研修及び環境整備を図ります。

(4) その他業務運営についての分析等

当所管内は沖縄県内でも高齢化が進んでいる地域となっており、シニア向け求人の確保が必要となっています。そのため、求人者に対して条件緩和指導を行い、シニア応援求人を増やす取組、また、宮古島市生涯現役促進協議会と連携しセミナー等を行い、高年齢求職者の就職意欲を高める取組を行います。

2 総合評価 (※)

良好な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 マッチング関係業務の成果 (主なもの)

	就職件数	充足数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	ハローワークの職 業紹介により、正 社員就職に結びつ いた就職氷河期世 代の不安定就労 者・無業者の件数	障害者の就職件数
令和4年度目標	1,668	1,509	271	90.0%	90.0%	67	37
令和4年度実績	1,786	1,731	315	87.8%	97.7%	80	57
目標達成状況	107%	114%	116%	未達成	達成	119%	154%

※ 就職件数は「(従来の) 紹介就職」及び「オンライン紹介による就職」の合計件数、充足数は「(従来の) 紹介就職」、「オンライン紹介による就職」及び「オンライン自主応募による就職」によるハローワーク求人の充足数の合計となっている。

※ 「目標達成状況」は、年度当初に設定した目標値に対する「達成率(端数切捨て)」又は「達成」・「未達成」で表示。

※ハローワーク八重山 就職支援業務報告（令和4年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

① 各指標に対する取組

当所では、主要3指標（就職件数、充足件数、雇用保険受給者の早期再就職件数）の目標達成のため、特に紹介件数を増やす取組を重点的に進めることとし、求職者に対し積極的な求人情報提供、雇用保険受給者に対し再就職手当の活用をPRするなど早期再就職の意欲喚起を行いました。また、求人者に対しては、より応募しやすい求人条件を事業所に提案する等、求人者・求職者のマッチング強化を推進する取組を行いました。

② 中長期的な職員の資質向上に向けた取組

職員の育成を図る観点から、所内において各種研修を計画し、職業相談の技法向上のための「マッチング手法研修」、職業相談や求人受理時に必要な各種労働法の知識習得のための「労働法令研修」及び業務システム更新に対応するための「システム研修」などを実施し、業務に必要なスキル・知識の向上に取り組みました。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

① 「人材確保サポート窓口の開設」

コロナ禍からの経済回復に伴い人手不足が深刻な問題となっているため、求人者への人材確保を支援する「人材確保サポート窓口」を開設し、求人者ニーズに合わせて様々な充足支援を展開しました。特に事業所のPR支援では、企業説明会や面談会、人手不足分野の業界説明会を定期的に開催し、企業の求人充足に繋げました。

② 「移住希望者サポート窓口の開設」

管内の人手不足対策の一環として、移住希望の県外、管外求職者の専門窓口を開設しました。

また、管内3自治体と連携し、移住希望者への相談体制を確立したことで、円滑な支援が行えました。

③ 「ハローワークメルマガの発信」

事業所向けに様々な情報を発信するメルマガを毎月1回発信しました。

毎月の雇用情勢の説明に加え、助成金の紹介やセミナーの紹介等、各種雇用管理面での情報を定期的に提供しています。

④ 「高年齢者向けセミナーの開催」

管内求職者のうち高年齢求職者の構成が高まっていることを受け、高年齢求職者に対する各種情報の提供に加え、就職支援セミナ

一を行うことで、就職意欲の喚起を促しました。

(3) 今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

① ハローワークサービスの周知及び職業相談・紹介の利用勧奨

求人者及び求職者に対し、ハローワークシステムの利便性の向上及びサービスメニューを周知することにより、ハローワークの利用促進を図り、これまでハローワークを利用していなかった方が、必要な支援サービスを受けられるよう取り組みます。

② 求職者支援の強化

令和4年度は職業紹介に重点を置き取り組みましたが、様々な課題を抱える求職者も多いため、今後、個別ニーズに合わせた課題解決支援に積極的に取り組むこととし、職業相談体制の強化を図ります。

(4) その他業務運営についての分析等

① 求人者、求職者マイページの利用促進

マイページの活用方法、活用のメリットを積極的周知し、求人者、求職者の利便性の向上に努めます。

② オンライン職業相談、職業紹介の活用

当所管内ではオンライン職業相談の実績が低調であるため、オンライン職業相談が効果的を思料される求職者を対象に利用促進に取り組みます。また、管内の離島においては、オンライン紹介・オンライン自主応募が求職者の負担も少なく効果的と考えられることから、利用促進に向けて積極的な周知に取り組みます。

2 総合評価 (※)

良好な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 マッチング関係業務の成果 (主なもの)

	就職件数	充足数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	ハローワークの職 業紹介により、正 社員就職に結びつ いた就職氷河期世 代の不安定就労 者・無業者の件数	人材不足分野の 就職件数
令和4年度目標	1,388	1,215	326	90.0%	90.0%	71	292
令和4年度実績	1,460	1,416	334	84.3%	94.4%	51	319
目標達成状況	105%	116%	102%	未達成	達成	71%	109%

※ 就職件数は「(従来の) 紹介就職」及び「オンライン紹介による就職」の合計件数、充足数は「(従来の) 紹介就職」、「オンライン紹介による就職」及び「オンライン自主応募による就職」によるハローワーク求人者の充足数の合計となっている。

※ 「目標達成状況」は、年度当初に設定した目標値に対する「達成率(端数切捨て)」又は「達成」・「未達成」で表示。